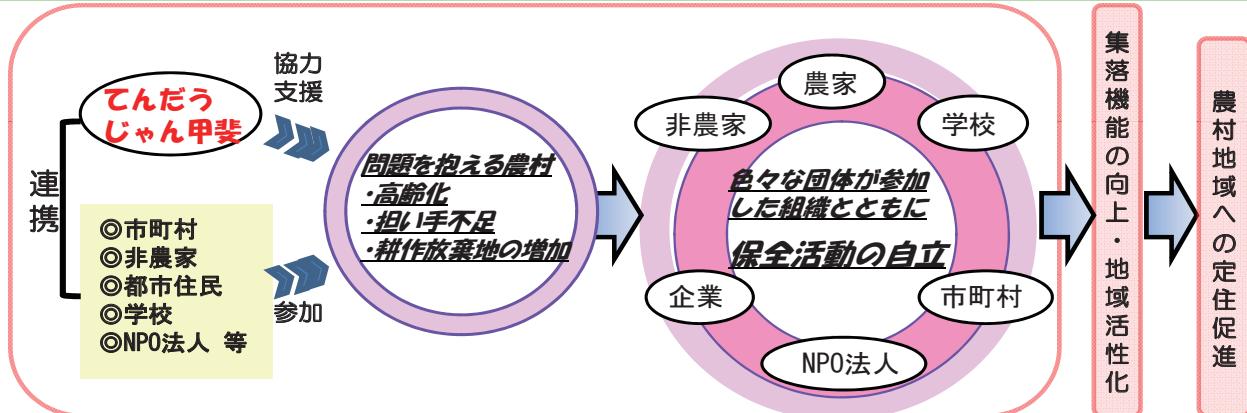


「てんどうじゃん甲斐プロジェクト」の仕組み



てんどうじゃん甲斐の主な活動

農業体験イベント



生態系保全活動



出前授業



山梨県立大学「農村地域資源研究会」の紹介!!

・活動目的

貴重な財産である、農村の地域資源の保全活動や村づくりを応援するため活動しています。

研究会独自のマークを作り、オリジナルTシャツなどを作成して団結を深めています。



・4大学交流会

琉球大学、静岡大学、信州大学、山梨県立大学の地域づくりを応援するサークルで交流会を開催し、製糖工場の見学や、さとうきび刈り体験を行いました。

「てんだうじやん甲斐」プロジェクト始動

てんだうじやん甲斐!?

平成25年度、山梨県では新たな
プロジェクトを開始しました。

その名も

「てんだうじやん甲斐」
プロジェクト!!

「」の名は「手伝おうか」の甲州
弁「てんだうじやんけ」に、山梨
を表す「甲斐」をかけてネーミン
グされたものです。

今回、記念すべきプロジェクト

第1回目の活動として、甲斐市の
甲斐敷島梅の里クラインガルテン
ほ場にて、山梨県立大学のサーク
ルである「農村地域資源研究会」
との協働活動を行いました。同研
究会では、平成25年度より、梅の
里クラインガルテンにて、サツマ
芋を植える活動を始め、その畑
作り、苗植えに山梨県農政部の職
員も参加し、交流を図りました。

どんなプロジェクトなの？

高齢化・担い手不足や耕作放棄地
が増加している農村で、その町の農
家だけでなく、都市住民、学校、N
PO法人等、様々な活動組織が協
力・連携して、農地の草刈りなどの
保全活動を行い、地域の活性化を図
ることを目的として活動します。プ
ロジェクトについて、詳しくお知り
になりたい方はお近くの県農務事務
所にお問い合わせ下さい。

また、同地域で例年行われている
「梅の里ふれあい祭」の県ブースに
同研究会も参加し、活動の紹介や、
風船・菜種の配付を通じて、参加者
との交流を深めました。今後は都市
住民やNPO法人等の活動組織とも
連携を図っていく予定です。



甲斐敷島梅の里クラインガルテンほ場